

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2007-87570(P2007-87570A)

【公開日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-250660(P2006-250660)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/005 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 7/004 (2006.01)

G 1 1 B 7/007 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/005 B

G 1 1 B 7/24 5 6 3 M

G 1 1 B 7/24 5 2 2 L

G 1 1 B 7/004 Z

G 1 1 B 7/007

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月14日(2009.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光記録媒体上の角度回転されたビットの回転角度を検出する方法であって、前記角度回転されたビットに光ビームを照射するステップと、検出器の少なくとも2つの検出領域を用いて、前記角度回転されたビットで反射された光ビームに関する少なくとも2つの検出信号を求めるステップと、前記少なくとも2つの検出信号の差信号を算出するステップと、
を含んでおり、

前記少なくとも2つの検出信号及び前記差信号を、前記角度回転されたビットの中心に対する、前記角度回転されたビットの位置に基づいて求める方法。

【請求項2】

前記角度回転されたビットの中心に対して角度回転されたビットについて2つの異なる位置で差信号の測定をすることによって、前記差信号の位相弁別検出を行うステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記少なくとも2つの検出信号の和信号を生成するステップをさらに含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

前記検出領域の境界が光記録媒体上のトラックと実質的に平行である、請求項1から3のいずれか1項に記載の方法。

【請求項5】

前記検出器が四象限検出器である、請求項1から4のいずれか1項に記載の方法。

【請求項6】

光記録媒体上の角度回転されたピットの回転角度を検出するデバイスであって、
前記角度回転されたピットに光ビームを照射するための光源と、
角度回転されたピットで反射された光ビームに関する少なくとも2つの検出信号を求め
るための、少なくとも2つの検出領域を有する検出器と、
前記少なくとも2つの検出信号の差信号を算出するための計算ユニットと、
を含んでおり、

前記少なくとも2つの検出信号及び前記差信号が、前記角度回転されたピットの中心に
対して前記角度回転されたピットの位置に基づいて求められるデバイス。

【請求項7】

前記少なくとも2つの検出信号の和信号を生成するための計算ユニットをさらに含む、
請求項6に記載のデバイス。

【請求項8】

前記検出領域の境界が光記録媒体上のトラックと実質的に平行である、請求項6又は7
に記載のデバイス。

【請求項9】

前記検出器が四象限検出器である、請求項6から8のいずれか1項に記載のデバイス。

【請求項10】

光記録媒体の角度回転されたピットの回転角度を検出するため、請求項1から5のい
ずれか1項に記載の方法を行うように構成された、又は請求項6から8のいずれか1項に記
載のデバイスを含む、光記録媒体から読み出しを行う装置。